

堺のヒト・モノ・世界をつなぐ

堺IPC

SAKAI CITY INDUSTRIAL PROMOTION CENTER
www.sakai-ipc.jp

PRESS



●特集

理念を経営に活かす！

株式会社テクノタイヨー / 株式会社オム印刷 / トーシンケミテック株式会社

●モノダン×モノジョ……………8

「女性ならではの繊細さで、高度な特殊溶接を担う。」
有限会社浦上特殊工業 磯野美帆さん

●さかいモノ語り……………11

「道具好きの男心をつかんだ逸品」
フィッシュユグリップ・タグ

2014.7
VOL.

32

【表紙写真】有限会社浦上特殊工業 磯野美帆さん PB モノダン×モノジョ



シール印刷一筋 独自の商品開発も

創業からシール印刷に特化。販下請けをめぐり、社内にも企画・デザイン部門を開設したほか、企画デザイン会社「OMP」も設立。印刷の止シールや書式シールなど、独自に開発したユニークな商品は、展示会などで同社の商品開発力のアピールに一役買っている。

「笑っていきや」の精神で復活。

株式会社オム印刷 松本恭宣社長

**21年前のつらい出来事から
生まれた社是が復活の支えに**

オム印刷の社是「笑っていきや」。東京の得意先からは「関西らしくて面白い」と評判らしいですが、この社是の背景には過去のつらい出来事がありました。

「21年前に火災で会社を失ったので、廃業も覚悟しましたが、4か月後に仮社屋で業務を再開しました。その頃の写真に、社員が談笑している一枚があつたんです。『そやな、つらい時につらい顔をしていても仕方がない。いつか笑えるようにしようや』、その思いが4年後に社是になりました。笑いは細胞を活性化すると言いますしね（笑）」と松本恭宣社長は語っています。

その社是と同時に定められた経営理念は、「私達は、信頼され期待される企業として発展していきます」「私達は、夢の持てる職場で人間力を高めます」「私達は、お互いが協力しあつて明るく元気な社風を作ります」。

松本社長はこれらの社是や経営理念を実際の経営に反映させようと、毎年、「経営計画書」を作成しており、今年度で18回を数えました。

「経営計画書は、一度はゼロになった会社をどう再建するのか、社員と一緒に頑張っていこうという思いの表れです」（松本社長談）。

毎年の経営計画書に 社長も社員全員も目標を明記

ゼロからの再建の中にあつて、「経営計画書」が社員たちを勇気づけ続けただろうと思えるのは、松本社長がそこに掲げた目標を一つずつ、着実に実践してきたことです。

具体的には、まわりから「できるわけがない」と言われた自社ビルの建設や東京進出、そしてISO9001・ISO14001の取得などで、それが社内の従業員たちはもちろん、金融機関などの社外からの大きな信頼につながっています。例えば、自社ビルを建設する際にも、銀行を訪ねる前に向こうから貸付けの申し出を受けたのだとか。

今では、社員全員の個人の目標と行動目標が「経営計画書」に記載されています。「毎月一回、経営理念を唱和していますが、それが社員一人ひとりにきちんと理解され、具体的な行動に結びついていなければと考えるからです」と松本社長。この行動目標はもちろん、書きっぱなしではなく、3か月に1回の部署ごとのミーティングでお互いの進捗状況を報告し合っています。

「社員がどういふ思いで仕事をしているかを知りたかったこともありましたが、あわせて一人ひとりの仕事への意識を高めたとも考えました。」

そのために売上や利益目標はもちろん、実績の数字もオープンにしています。売上を上げてでも外注費にムダがあれば利益は上がらない。社員が自らそれを意識して行動しています」とその効果を話しています。

「小グループ化」がつくる 協力し合う社風と自立した人材

同社の組織管理法としてユニークなのは、昨年から導入を始めた3人1グループの「小グループ化」です。その狙いについて松本社長は「当社では社員一人ひとりに数値目標を設定せず、グループでの達成を求めています。人にはそれぞれ得意、不得意があり、例えば営業で得意先の新規開拓が苦手な社員もいます。代わりに顧客管理が得意なら、そこで貢献すればいいんじゃないかという考えですね。『一人はみんなのために、みんなは一人のために』。経営理念にある『お互いが協力しあつて』ということなんです。人材に限りがある中堅企業だからこそその工夫だと思います」と語っています。

3人という少人数グループゆえにフットワークも軽く、気軽に立ち話的にミーティングを開くことができます。人数の多い会議では遠慮して発言しにくい若い社員が、活発に意見を述べることもできるのも大きな

メリットといえるでしょう。

また、作業時間の段取りなどもリーダーを中心に、メンバーが自主的に判断することを認めているとか。これはトップからの指示がなくても、自分たちで考え、行動できる自立した次世代を育成するためなのだとい

います。「私は時代の流れや企業の成長にあわせて経営理念も変わつてよい、いや変わるべきなのではないかと考えています」と語る松本社長。来年末に創業30年を迎える節目に、どのようなビジョンを打ち上げるのか、社内外から大きな期待が寄せられています。

株式会社オム印刷



▲マウスパッドに下に隠れるカレンダーシールや暗闇でもスイッチの位置がわかる蓄光シールなどのユニークな自社開発製品がある。

代表者名 / 代表取締役 松本恭宣
本 社 / 堺市美原区太井 565-1
T E L / 072-361-0124
設 立 / 1985年創業 1990年設立
資 本 金 / 1,000万円 従業員数 / 26名
事業内容 / シール印刷、印刷全般、企画デザイン
<http://www.om-print.co.jp/>

社長から社員へのレターが 毎月の給与袋に。

毎日、全社員と声を交わすように心がけているほか、現金支給している毎月の給与袋には、松本社長が作ったレター「オムタイムス」を封入されているとか。こうしたコミュニケーションの良さからか、社員の定着率が上がったという。

